
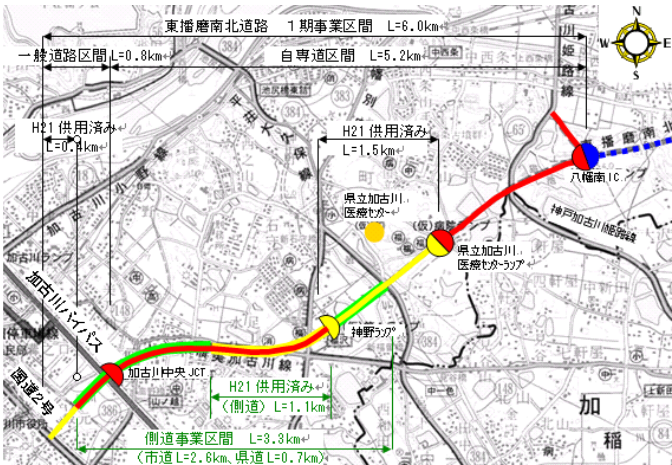


再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担当課：環境安全課
担当課長名：増田 博行

事業名 地域高規格道路 東播磨南北道路 主要地方道加古川小野線	事業区分 地方道	事業主体 兵庫県
起終点 自：加古川市野口町坂元 至：八幡町上西条		延長 6.0km
事業概要 主要地方道加古川小野線は、加古川市の国道2号を起点として小野市の国道175号に至る東播磨地域の主要な南北幹線道路である。南北交通への対応と臨海部・内陸部相互の連携の強化や交流を促進するとともに、交通渋滞の緩和、交通事故の削減等の改善を図る4車線（暫定2車線整備）の道路事業である。		
平成10年度事業化	平成12年度都市計画決定 (平成24年度変更)	平成10年度用地着手 平成17年度工事着手
全体事業費 690億円 (内県事業 569億円)		事業進捗率 93%
計画交通量 30,500台/日		供用済延長 1.9km
費用対効果分析結果		基準年 平成24年
B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 11.0		総費用 (残事業/事業全体) 80/816億円 (事業費) 46/782億円 (維持管理費) 34/34億円
		総便益 (残事業/事業全体) 882/882億円 (走行時間短縮便益) 728/728億円 (走行経費減少便益) 102/102億円 (交通事故減少便益) 53/53億円
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C= ~ (交通量 ±10%) 事業費 : B/C= ~ (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C= ~ (事業期間 ±20%)		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（交通渋滞の緩和、交通事故の削減及び地域環境の改善が見込まれる） ・国土・地域ネットワークの構築（地域の連携や人・モノの交流を拡大し日常生活における利便性の向上が見込まれる） ・安全で安心できるくらしの確保（県立加古川医療センター〔三次救急医療機関、災害拠点病院〕へのアクセス向上、小野市に建設中の北播磨総合医療センター〔二次救急医療機関〕との連携強化）		
関係する地方公共団体等の意見 関係市町や地元代表による「東播磨南北道路建設促進期成同盟会」が組織され、協力体制も整っている。		
事業評価監視委員会の意見 住宅地を通過することから、供用後は、大気、騒音等の必要な事後監視調査を行い、周辺環境の保全に取り組みたい。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 周辺環境の変化は特になし		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成25年度末供用に向け、全区間で工事を実施中である。 平成24年度末の進捗率は、事業費ベースで93%である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 全橋梁30橋のうち26橋完成、4橋施工中。平成25年度末供用に向けて事業を促進する。		
施設の構造や工法の変更等 加古川河川改修で発生した土砂を盛土材として流用するなどコスト削減に努めている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 当該事業の必要性は高く、供用に向け完成の見通しも立っていることから「事業継続は妥当」である。		
事業概要図		
		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。